

平成 30 年度第 4 回古賀市スポーツ推進審議会【子ども部会】 会議録
(要約筆記)

(事務局)

- ・本日は、部会長の井浦座長が学校行事で欠席のため、事務局より前回と前々回の内容の振り返りのため説明を行う。
- ・前々回は、現状の課題と今後の方向性について、そして前回の部会では 10 年後の姿についてテーマに協議を行った。頂いたご意見等については、配布資料の方にまとめている。
- ・前回の部会では本多委員と薄委員がご欠席であったので、改めてご意見等あれば、この場でお聞きしたい。

(委員)

- ・資料に、「子ども⇄家族(親子)⇄地域」とあるが、10 年後に、子ども、家族、地域が関わり合う仕組みづくりを考えると何か。

(事務局)

- ・10 年後に目指すべき姿として、子どもと家族と地域が関わりあうための仕組みづくりを考えていくよと思っています。

(委員)

- ・資料にあるとおり、子どもの遊び、活動の拠点として公民館を考えるのは良いことだと思う。しかし公民館の現状は、実際は利用が一杯で使えないというようなことはないか。

(委員)

- ・公民館によっては、卓球や学習室など、色々活動で埋まっているところもあるし、地域によっては、校区外の方は入れないというようなことで空いているところもあるのが現状ではないかと思う。
- ・あと児童館はどうか。古賀には 3 つあると思う。

(事務局)

- ・古賀市は中学校区ごとに、千鳥・米多比・鹿部にある。千鳥は設備も整っており、利用は多いようだ。鹿部の児童館は新しく出来たところであり、利用する子どもも多いと聞いている。

(委員)

- ・学校体育の中で、1 学校 1 取組に地域の力が必要という考えがあるのか。

(事務局)

- ・前回の部会の中で、青柳小キャラバンの話をされたが、活動に地域の PTCA などの力が欠かせないと聞いている。キャラバンが良い取組なのに、青柳小の先生が他校に転勤されても転勤先の学校でキャラバンが広まらないのは、学校の先生の力だけではなく、青柳は地域の関わりが強かったからだというお話があった。

(委員)

- ・青柳小の取組がとても良いモデル事業ということで、市内の他の小学校でも真似できるように、例えば市内の校長会などで発信して、教育委員会が、これを市の取組としてやっていけば早いのではないかという気がする。
- ・次年度からとか、2 年後からやろうということで決めて進めてみてはどうだろうか。良い取組だということを校長が伝えていく、それが中学校でもよいと思う。
- ・地域性と言ってしまうと、出来なくなるところもある。PTCA にしても、今はなり手すらないところもあると聞く。そこはそこで問題を抱えていると思う。なりたいと思えるような組織にしていく改革は必要だろう。
- ・このような活動が、市とタイアップして、市独自の取組としてアプローチしていくことは大切だと思う。
- ・運動部活動については、小学校はクラブ活動というものもあったと思うが。

(事務局)

- ・小学校高学年はクラブ活動を行っている。

(委員)

- ・それを低学年化して、興味を持たせるとか、やりたいと思うきっかけづくりになるとよい。ちょっとしたきっかけで、例えばドッジボールがしたくなったり、バスケがしたくなったりバスケのジュニア団体に入るとか、そういう風に幅が広がっていく。
- ・中学校になったら、部活動に入りましょうとか、社会体育団体に入りましょうとなっていくと思うが、そこに指導者がいな

いというのは、自分もちょっと理解できない。

(委員)

・部活動というのは、顧問の先生が練習場所に行けなくても、子どもたちが自主的にやっているのが理想。もちろん、安全管理上、誰か一人いるのがよいのだが、本来は子どもたちだけでも自主的に計画運営していけるのがよい。先生がないから練習にならないというのは、理想から外れるのかもしれない。

(委員)

・自分たちで出来ていけばいいが、出来ていないケースもあり、そこを改善するために指導がいる。そこは今後どんな風に考えて進めていかれるのだろうか。自分の感覚では、ここ5年くらいは、その状態のまま変わってないような気がする。

(委員)

・部活動の姿は、昔と現在は変わってきているとは思う。実際、この先どうなっていったらよいのだろうかを考える。例えば、もう部活動自体をなくしてしまって、全部社会体育に移ってしまうという姿でもいいのかもしれない。部活動からどんどん離れていっているような気もするが、どうなのだろうか。課題の解決は出来ていけるのだろうか。
・市が部活動に入りましようかと推奨しても、指導者の問題とか、解決できないのであればどうか。

(委員)

・自分の部活動のイメージは、毎日毎日そこに行ってやるという、そして疲れて帰っていくというイメージ。そのうちちょっとずつ出来るが増えていっている。
・野球やサッカーなど、小学校からの流れでクラブチームに入る。それは何故かという、競技性が高いということがあったり、厳しく鍛えられたりするからだ。
・そこが部活動と社会体育の違いではないかと感じる。皆が入れるのが部活動であり、そういう意味では部活動がなくなるといのはスポーツをやる機会を失うのかなという気がする。そういうところでは、指導がしっかりできる指導者を担っていただけたらと思う。